

Trim
NIHON TRIM CO.,LTD.



もりさわ けんじ 株式会社日本トリム代表取締役
1944年高知県生まれ。82年日本トリム設立。いち早く水の機能性に着目し、健康維持に役立つ水を追求。現在では、飲用だけでなく、医療分野、農業分野、工業分野など、さまざまな分野への活用に向けて取り組んでいる。日本トリムグループ代表、機能水研究開発部理事。

ふじもと かつひろ 医師・医学博士・工学博士・経営管理修士(MBA) 東京大学大学院医学系研究科博士課程修了。1970年神奈川県生まれ。アンチエイジング領域におけるレーザ医療の可能性を探り、クリニックを開業。米国や欧州の学会でも積極的に講演を発表している。著書「ハイドロジェン・セラピー」水素水を科学する。など。

最先端のレーザ治療を実施しているクリニックF院長の藤本幸弘氏は、エイジングケアの観点から水素に注目し、水素水に関する著書も上梓している。日本トリム代表の森澤紳勝氏は、「機能水」という新しい概念を掲げ、健康に有用な電解水素水の可能性を追求してきた。そんなお二人が、健康、予防などについて語った。

「水に機能がある」という新しい視点

【森澤】藤本先生は昨年、水素水をテーマにした「ハイドロジェン・セラピー」水素水を



科学する」を上梓されましたね。
【藤本】「水素水に関心を持ったのは、森澤社長の「水に機能がある」という言葉がきっかけでした。その後、水素に関する論文が発表されて注目を浴びるようになり、アンチエイジングを専門にしている以上、詳しく追求しなければと考えたのです。

水素水と抗酸化性の可能性

【森澤】水素には体内で発生する4種類の活性酸素すべてと結びつく「抗酸化性」があると考えられています。

【藤本】過剰に発生した活性酸素は疾病や老化の大きな原因として指摘されており、酸化を抑制する「抗酸化」は医学界でも注目

されています。抗酸化といえば、ビタミン類やカロチンなど有名ですが、4種類すべての活性酸素を抑制するわけではありません。
【森澤】私は「健康とは貯蓄するもの」だと考えています。サプリメントなどは効果的だと思いますが、継続が大変です。その点、飲用に調理にと生活の中に取り入れやすい水素水は、日々の健康づくりに最適だと考えています。

【藤本】私も水素水の摂取を毎日続けることが大切だと考えています。水素は時間とともに抜けてしまいますので、できたての水素水を飲むようにしておくのが理想です。

【森澤】電解水素水整水器は、胃腸症状の改善の効果を認められていますからね。家庭用医療機器として認定され、JIS T2004・2011(日本工業規格)で製品規格が定められています。

水素は量ではなく継続が大事

【藤本】「昨今、水素の量が強調される傾向がありますが、美容や健康によいとされるビタミン類にも摂取上限量が定められたものがあるように、よい成分だからといってやみくもに摂るのは決して推奨されるべきことではありません。」

【森澤】確かに水素量が多いほどよいという科学的証明は、私の知る限りありませんし、人間の体にとって無理のない量である必要がありますね。

【藤本】九州大学大学院薬学研究科がPLoS ONEで発表した論文では、80ppbと1500ppbの水素水でマウスの効果が同等であったと報告されています。やはり、1回の量ではなく継続することが重要だと思います。

「健康経営」と「水素水」。

【森澤】私どもは、電気分解で生成した電解水素水が水素ガスを充填した水素水よりも抗酸化性が高いということを明らかにするために、東京大学工学系研究科や九州大学大学院農学研究院と共同研究を進めています。海外では、カロリンスカ研究所(スウェーデン)とのマウスを使った研究で、電解水素水中の水素がある特定の症状を抑制したり快復を促進することを論文発表しました。

【藤本】様々な症状緩和などの効果が期待できるという研究データですね。

医療や農業への応用

【森澤】飲用以外では、血液透析への応用として「電解水透析」に取り組んでいます。透析患者の倦怠感などの副作用を緩解し、QOLを改善することを目的としています。

現在15病院で機器を設置し、242床で臨床を行っています。

【藤本】透析患者数は毎年増えていますので、社会的意義も大きいですね。それ以外には、いかがですか？

【森澤】健康へ寄与する取り組みとして、電解水素水を用いて栽培した野菜や果物を「還元野菜®」として提案しています。電解水素水で育成すると収量や抗酸化成分が増加するというデータを得ています。

予防は日常習慣の中に

【藤本】国が施策として健康長寿社会の実現を提唱する中、「予防」の重要性への認識が高まっています。誰もが若々しくありたいと思うのですが、肌、姿勢、気力な



ど、総合的な要素から生み出されるのが若さです。それを支える基盤は、健康であり、そのためには予防が重要です。

【森澤】予防には、食事、運動、睡眠など多くの要素がありますが、毎日必ず飲む水も大切な要素の一つです。そのためにぜひ取り入れていただきたいのが、電解水素水による「ウォーターヘルスケア」という、新習慣」の考え方です。

「健康経営」との関わり

【藤本】森澤社長の「健康を貯蓄する」にも通じますね。これからは予防の位置付けがより大きくなっていきます。その中で、今注目されているのが「水素」です。

【森澤】今、「健康経営」に取り組む企業が増えています。社員の健康に投資することが経営の効率化に大きく貢献するということです。

【藤本】それはとても大切なことです。増加し続ける医療費の削減にも通じます。

【森澤】全国健康保険協会のデータでは、当社社員の医療費は、全国平均の約60%です。社員全員が電解水素水を飲んでいくことで、その影響も大きいと考えています。エビデンス取得に向けた研究にも取り組んでいます。

【藤本】経済産業省と東京証券取引所が「健康経営銘柄」の選定をしていますね。

【森澤】「健康経営2016」に選定された企業の中にも、当社の機器をご利用いただいている企業がございます。事業所でのご利用にとどまらず、顧客サービスにご活用いただいた事例も多数出てきています。当社はこういった健康を大切に企業や行政の取り組みを応援していきます。

【藤本】水の機能がますます広まり、健康維持に寄与していただくことを期待しています。

【森澤】ありがとうございます。当社グループでは、国内最大のさい帯血バンクを運営するなど先進医療分野にも取り組んでいます。電解水素水のウォーターヘルスケア事業とともに、国内だけでなく世界の人々に健康な毎日をお届けするべく尽力してまいります。



株式会社日本トリム

東証一部上場
証券コード：6788

お問い合わせは 0120-328-106

受付時間9:00~18:00(土日祝は休業日)
※最寄りの事業所につながります。

<http://www.nihon-trim.co.jp/>

日本トリムの情報はWebで [日本トリム](#) [検索](#)

本社/〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-22 ハービスENTオフィスタワー22F

日本トリムネットワーク 支社・営業所/札幌・仙台・東京・名古屋・広島・福岡・青森・宇都宮・高崎・大宮・千葉・横浜・新潟・長野・静岡・浜松・金沢・京都・姫路・山陰・岡山・松山・高知・長崎・熊本・鹿児島・沖縄

広告